2025（令和７）年度

２日［＊＊］

地理歴史（世界史）

注　　意

1．監督者の指示があるまでは、問題を見ないこと。

2．問題は声を出して読まないこと。

3．問題は22ページ、1 、2 、3 、4 の４問から成っている。

4．問題や解答用紙に落丁、乱丁、汚損あるいは印刷不鮮明の箇所などがあれば、手をあげて監督者に申し出ること。ただし内容に関する質問は受けつけない。

5．解答は**マーク式**と**記述式**がある。解答は必ず**黒色鉛筆を使用**し、マーク式の場合は解答用紙の所定解答欄の記号に**マークすること**。

6．訂正箇所は、消しゴムで**完全に消すこと**。

7．解答に関係のない符号（？レなど）は記入しないこと。

8．解答用紙を**折ったり汚したりしないこと**。

1 次の文を読んで以下の設問に答えなさい。

アヘン戦争後、中国の民衆は重税に苦しみ、各地で反乱が発生した。このうち最大規模のものが、［ ① ］年に始まる太平天国の乱(1)であった。反乱鎮圧後、国内の秩序は一時的に安定した。一方、この頃の日本では江戸幕府が倒れ、新政権が成立した（明治維新(2)）。冊封体制の外にあった日本は、［ Ⓐ ］を結んで清と対等な関係を築いたが、朝鮮(3)支配をめぐって清と対立し、日清戦争が起こった。日清戦争での清の敗北により列強の中国進出(4)が激化することになり、中国国内では危機感が高まった。1898年、光緒帝は康有為を登用して立憲君主制をめざす改革を進めようとしたが、保守派の反対により失敗に終わった。一方、華僑や留学生の間に革命を求める動きが強まり、1911年10月の［ ② ］蜂起をきっかけとして辛亥革命が始まった。

第一次世界大戦後、中国国民党や中国共産党が結成された。国民党と共産党は一時提携したものの、1927年の上海クーデタにより協力関係は崩壊した。1930年代には日本による中国進出が激化した。蔣介石率いる国民政府は、日本への対処よりも共産党との戦いを優先した。国民政府の攻勢を受けた共産党は1934年に長征を開始し、やがて陝西省の［ ③ ］を根拠地とした。1937年に日中戦争が勃発すると、第２次国共合作が成立したが、第二次世界大戦終結後に国共内戦が再開された。

共産党は、土地改革などによって農民の支持を獲得し、内戦に勝利した。1949年９月には国民党統治に反対する諸党派が集まって人民政治協商会議が開催され、10月には中華人民共和国(5)の成立が宣言された。主席となった毛沢東は急激な社会主義国家建設をはかったが、1958年から進めた政策(6)は失敗に終わった。毛沢東にかわって国家主席となった劉少奇は、経済政策の見直しをはかった。これに反発した毛沢東は、権力奪還をはかるため1966年からプロレタリア文化大革命を開始したが、長期にわたり中国の社会や経済は混乱することになった。1976年、周恩来と毛沢東が相次いで死去すると、首相となった［ ④ ］がプロレタリア文化大革命の推進派であった「四人組」を逮捕して党主席を兼任し、1977年にプロレタリア文化大革命は終結した。

設問１　文中の空欄［　Ⓐ　］にあてはまる語句を書きなさい。

設問２　文中の空欄［　①　］～［　④　］にあてはまる数字や語句を以下の語群から選びなさい。

〔語群〕

① ㋐ 1851　　㋑ 1861
　 ㋒ 1871　　㋓ 1881

② ㋐ 南京　　㋑ 武昌
　 ㋒ 西安　　㋓ 四川

③ ㋐ 重慶　　㋑ 延安
　 ㋒ 瑞金　　㋓ 武漢

④ ㋐ 鄧小平　　㋑ 江沢民
　 ㋒ 華国鋒　　㋓ 胡錦濤

設問３　下線部(1)に関する記述として、誤っているものを以下の中から選びなさい。

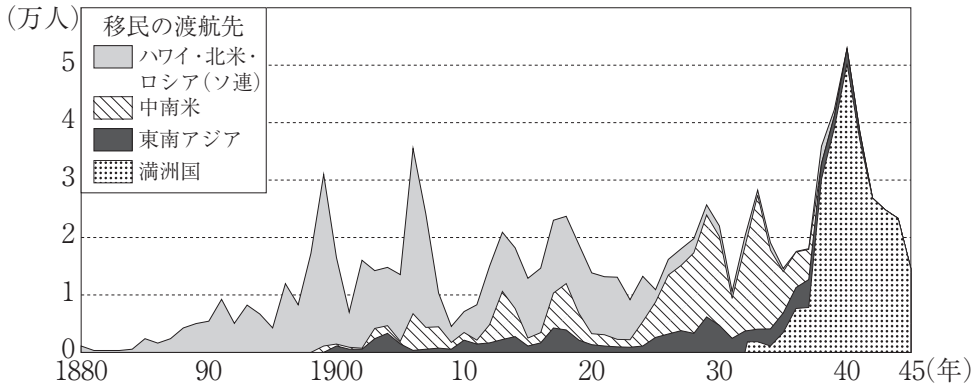
㋐ 太平天国はキリスト教の影響を受けた宗教結社によって打ち立てられた。

㋑ 太平天国は辮髪や纏足などの風習を廃止した。

㋒ 太平天国は、男女の区別なく土地を均分するという天朝田畝制度を打ち出したが、実施にはいたらなかった。

㋓ 太平天国軍は北京を占領してこれを首都と定め、天京と名付けた。

設問４　下線部(2)に関連して、明治維新以降、人口の増加に伴い、海外への移民が増えた。日本人移民の数と渡航先を示した次のグラフに関する記述として誤っているものを以下の中から選びなさい。



(外務省領事移住部『わが国民の海外発展：移住百年の歩み　資料編』1971年より作成)

※満洲への渡航は1931年以前は記録がなく、32年以降のみを記載している。

(ア)　1910年以前に移民の数が大きく減少しているのは、アメリカ合衆国がアジア諸国からの移民を全面的に禁止したからである。

(イ)　1920年代以降、ハワイ・北米・ロシア（ソ連）にかわって中南米地域への移民が増加した。

(ウ)　満洲国成立から太平洋戦争勃発までの間に最大の移民先が中南米から満洲国へとかわった。

(エ)　1930年代後半以降、満洲国への移民が増加したが、日中戦争の長期化により日本国内の労働力が減少すると、満洲国への移民も減少した。

設問５　下線部(3)に関する記述として、正しいものを以下の中から選びなさい。

(ア)　日本は江華島事件を口実として、朝鮮に釜山などを開港させた。

(イ)　攘夷派と対立していた改革派の閔氏らは、日本に接近して急進的な改革をはかろうとした。

(ウ)　全琫準は、儒教・仏教・道教を融合した東学を創始した。

(エ)　日清戦争後、国号を大韓帝国とし、世宗は皇帝の称号を用いた。

設問６　下線部(4)に関する記述として、正しいものを以下の中から選びなさい。

(ア)　ロシアは東清鉄道の敷設権を獲得し、山東半島南部の旅順・大連を租借した。

(イ)　イギリスは威海衛・九竜半島（新界）を租借し、長江流域と広東東部に勢力を拡げた。

(ウ)　フランスは広州湾を租借し、台湾対岸の福建省に勢力を拡げた。

(エ)　アメリカ合衆国国務長官ケロッグは、門戸開放宣言を提唱して中国進出の遅れを取り戻そうとした。

設問７　下線部⑸に関連して、次の年表に示したａ～ｄの時期のうち、国連代表権が中華民国政府から中華人民共和国に移った時期として、正しいものを以下の中から選びなさい。

a
1950年　中ソ友好同盟相互援助条約が締結された。
b
1964年　フランスと中国の間で国交が樹立された。
c
1979年　アメリカ合衆国と中国の間で国交が正常化された。
d

㈠　a　　㈡　b　　㈢　c　　㈣　d

設問８　下線部⑹に関する記述として、正しいものを以下の中から選びなさい。

㈠「大躍進」運動を開始して、人民公社を設立した。

㈡「中体西用」をスローガンに掲げ、中国の伝統的な道徳倫理を根本として西洋技術の導入をはかった。

㈢　ソ連のペレストロイカの影響を受け、経済改革が進められた。

㈣　農業・工業・国防・科学技術の「四つの現代化」をはかった。

2 次の文を読んで以下の設問に答えなさい。

1848年はヨーロッパ全体で反乱や蜂起が連鎖した一年だった。1月にシチリアで国王に対する民衆蜂起が生じると、3月までにパリ、ミュンヘン、ストックホルム、ウィーン、ベルリン、ミラノ、ヴェネツィアなど各地に波及した。イギリスでチャーティスト運動が最後の高揚を迎えたのも同時期だった。

フランスでは2月にパリの民衆蜂起によって七月王政が打倒され、［ ① ］ら社会主義者も参加した臨時政府が組織された。産業革命後、都市労働者の失業・貧困、劣悪な住環境や悪疫の発生など、［ Ⓐ ］問題と総称されるようになった様々な問題が生じていた。臨時政府は国立作業場の設置など急進的な改革を実行したが、男性普通選挙(1)で行われた4月の憲法制定議会選挙では穏健共和派が多数を占め、改革は停止された。6月、国立作業場廃止に抵抗したパリの民衆蜂起も武力で鎮圧された。結局、第二共和政は大統領に就任したルイ＝ナポレオン(2)のクーデタによって崩壊し、第二帝政(3)に取って代わられた。

パリの二月革命はドイツ諸邦に民衆蜂起の波を広げた。『歌の本』で著名なドイツ・ロマン派の詩人［ ② ］はその15年ほど前、『ドイツにおける宗教と哲学の歴史』でこう書いていた。「私たちのような体系的な民族は宗教改革から始めなければならなかった。それに基づいて初めて哲学(4)に取り組むことができたのであり、その完成後にようやく政治革命に移行できる」。1848年3月にまさにその革命が起きたのである。小国だけでなく大国オーストリアとプロイセンでも首都で民衆が蜂起し、軍との激しい衝突の末、政府に憲法制定を約束させた。オーストリアでは宰相［ ③ ］がイギリスへ亡命し、ウィーン体制が崩壊した。ただし、夏以降には君主と貴族による反革命の動きが優勢になり、革命は貫徹されなかった。

各地ではナショナリズムも高揚した。5月には［ ④ ］でドイツ統一(5)を審議するために最初の国民議会が開かれた。翌年3月にはドイツの統一憲法が採択されたが、皇帝に選出されたプロイセン国王が着任を拒み、ドイツ統一は先送りされた。オーストリア領内でもウィーンの三月革命を機に、中欧や北イタリアで一連の民族独立運動が生じたが、ロシアの［ ⑤ ］による軍事支援もあって武力

鎮圧された。

設問１　文中の空欄［　Ⓐ　］にあてはまる語句を漢字で書きなさい。

設問２　文中の空欄［　①　］～［　⑤　］にあてはまる語句を以下の語群から選びなさい。

〔語群〕

① ㋐ サン＝シモン　　㋑ プルードン
　 ㋒ ルイ＝ブラン　　㋓ ロベスピエール

② ㋐ グリム兄弟　　㋑ ゲーテ
　 ㋒ バルザック　　㋓ ハイネ

③ ㋐ タレーラン　　㋑ ハルデンベルク
　 ㋒ ビスマルク　　㋓ メッテルニヒ

④ ㋐ フランクフルト　　㋑ ベルリン
　 ㋒ ボン　　㋓ ミュンヘン

⑤ ㋐ アレクサンドル１世　　㋑ ピョートル１世
　 ㋒ ニコライ１世　　㋓ イヴァン４世

設問３　下線部(1)に関連して、女性参政権の導入に関する記述として、正しいものを以下の中から選びなさい。

㋐ 日本では大正デモクラシーの時代に女性参政権が導入された。

㋑ アメリカでは独立革命時に女性参政権が導入された。

㋒ イギリスでは第一次世界大戦中に女性参政権が導入された。

㋓ トルコでは第二次世界大戦後に女性参政権が導入された。

設問４　下線部(2)に関連して、次の文と資料Ａ～Ｃを読み、後の問いに答えなさい。

1848年12月の大統領選挙で勝利したのはナポレオン１世の甥であるルイ＝ナポレオンだった。この選挙でルイ＝ナポレオンは約74パーセントの得票率で圧勝した。翌年５月の立法国民議会選挙では王党派・保守派の秩序党が過半数の議席を占めた一方、社会主義に親和的な社会民主派が３割近くまで議席を伸ばした。ルイ＝ナポレオンは当初は議会多数派の秩序党と連携する構えを見せていたが、やがて対立するようになる。そして1851年末、議会解散を宣言し、パリに戒厳令を出して警察に有力議員を逮捕させた。クーデタである。ルイ＝ナポレオンはこうして独裁への道を歩き出した。資料Ａはルイ＝ナポレオンの勝利に関するドイツの社会主義者マルクスの分析（1852年）、資料ＢとＣは上記の二つの選挙の結果である。

資料Ａ

〔…〕ボナパルト〔ルイ＝ナポレオンを指す〕は一つの階級を、しかもフランス社会で最も人数の多い階級、分割地農民〔主に封建地代の無償廃止によって土地を所有した農民〕を、代表している。〔…〕

分割地農民は膨大な大衆を形成しており、その成員はみな同じ生活状況にあるが、相互にさまざまな関係を結ぶことがない。彼らの生産様式は、彼らを相互に交流させる代わりに、互いに孤立させる。〔…〕個々の農民家族はみな、ほとんど自給自足し、その消費物の大部分を直接自ら生産し、こうしてその生活資料〔生活の糧〕を、社会との交流でよりも、むしろ自然との粗暴な交換で獲得する。分割地農民の間には局地的な関連しか存在せず、彼らの利害の同一性が、彼らの間に連帯も、国民的結合も、政治的組織も生み出さないかぎりでは、彼らは階級を形成しない。だから彼らは、自分たちの階級利害を、議会を通してであれ、国民公会を通してであれ、自分自身の名前で主張することができない。彼らは自らを代表することができず、代表されなけ

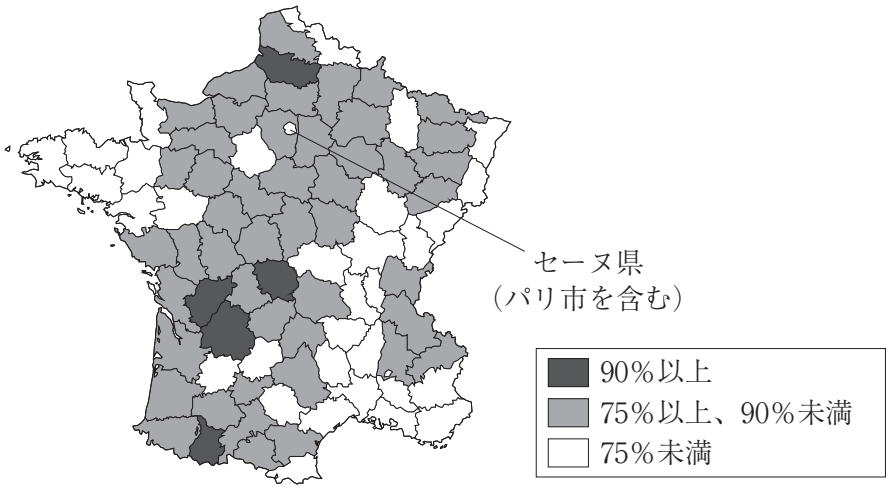
ればならない。〔…〕

ボナパルト王朝〔ルイ＝ナポレオン政府を指す〕は、革命的農民ではなく、保守的農民を代表しているのであり、〔…〕都市と結びついた自分自身のエネルギーによって古い秩序を転覆しようとする農村民衆ではなく、その反対にこの古い秩序に鈍感に閉じこもり、自分の分割地ともども帝政の幽霊によって救われ、優遇されるのを見たいと思う農村民衆を、代表しているのである。ボナパルト王朝は、農民の啓蒙ではなく迷信を、農民の判断力ではなく偏見を、農民の未来ではなく過去を〔…〕代表する。

（カール・マルクス『ルイ・ボナパルトのブリュメール18日〔初版〕』植村邦彦訳、平凡社、2008年。〔　〕は問題作成者による補足、…は中略を表す。）

資料Ｂ　1848年12月大統領選挙

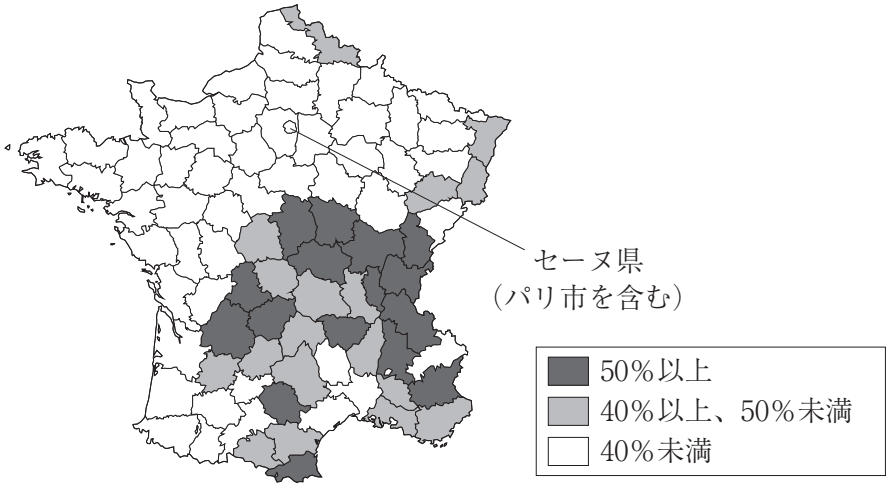
（ルイ＝ナポレオンの県ごとの得票率を示す。）



（Éric Anceau, « Comment expliquer le succès électoral de Louis-Napoléon Bonaparte en décembre 1848 ? », *Encyclopédie d'histoire numérique de l'Europe* [en ligne], https://ehne.fr/fr/node/21892, 04/07/22 を元に作成）

資料Ｃ　1849年５月立法国民議会選挙

（社会民主派の県ごとの得票率を示す。）



（Jacques Bouillon, Les démocrates-socialistes aux élections de 1849, *Revue française de science politique*, 1956, pp. 70–95 を元に作成）

資料Ａ～Ｃの解釈として、適切ではないものを以下の中から選びなさい。

(ア)　資料Ａでマルクスは、ルイ＝ナポレオンは自分たちの利害を代表する政党や団体を持たなかった分割地農民を代表したと主張している。

(イ)　資料Ａでマルクスは分割地農民がルイ＝ナポレオンの支持基盤だとしているが、資料Ｂ・Ｃからは社会民主派の支持者もルイ＝ナポレオンを支持していた可能性が示唆される。

(ウ)　資料Ｂ・Ｃからは、セーヌ県ではルイ＝ナポレオンの得票率は75％未満、社会民主派の得票率は40％未満だったことが分かる。

(エ)　資料Ａでマルクスは、都市の労働者や保守派に対抗して階級意識に目覚め、ルイ＝ナポレオンを支持したとして、分割地農民を称賛している。

設問５　下線部(3)に関する記述として、正しいものを以下の中から選びなさい。

(ア)　アロー号事件を口実に清と開戦したイギリスに対抗するため、清を支援した。

(イ)　メキシコに武力干渉を行い、オーストリア皇帝の弟をメキシコ皇帝に即位させた。

(ウ)　クリミア戦争ではロシアを支援したが、ロシアはオスマン帝国に敗北した。

(エ)　西アフリカ・サハラ地域と東アフリカを連結させるためジブチを植民地化した。

設問６　下線部(4)に関連して、『ドイツにおける宗教と哲学の歴史』の著者がここで念頭に置いている可能性がある哲学者として正しいものを以下の中から選びなさい。

(ア)　ヴォルテール　　(イ)　カント

(ウ)　ベンサム　　(エ)　ルソー

設問７　下線部⑸に関連して、ドイツ帝国の成立に至るまでの出来事の順番として、正しいものを以下の中から選びなさい。

ａ　ドイツ諸邦とナポレオン３世率いるフランスが戦争を開始した。

ｂ　プロイセンとオーストリアがデンマークと戦争を開始した。

ｃ　マイン川以北の22国が北ドイツ連邦を結成した。

(ア)　ａ→ｂ→ｃ　　(イ)　ａ→ｃ→ｂ

(ウ)　ｂ→ａ→ｃ　　(エ)　ｂ→ｃ→ａ

(オ)　ｃ→ａ→ｂ　　(カ)　ｃ→ｂ→ａ

3 次の文を読んで以下の設問に答えなさい。

イタリア半島では、前８世紀半ばにラテン人の一派によって都市国家ローマが建設されたとされる。はじめ王政であったが、前６世紀末に貴族を中心とする共和政が樹立された。はやくから平民と貴族の身分闘争(1)が起こり、前３世紀まで続いた。この頃、全イタリア半島(2)を支配下においたローマは、西地中海を支配していたカルタゴと争った。また、東方のヘレニズム世界に進出し、地中海世界を征服した。前27年には共和政から帝政へ移行し、その後約200年間におよぶ「ローマの平和」（パクス＝ロマーナ）と呼ばれる繁栄の時代が続いた。４世紀になると、ゲルマン人の侵入などによって帝国内部は混乱し、395年にローマ帝国は東西に分裂した。

西ローマ帝国は476年に［　①　］によって滅ぼされた。その後、［　①　］の王国を倒した東ゴート人がイタリア半島を支配したが、ビザンツ帝国によって滅ぼされた。６世紀には北イタリアに［　②　］王国が樹立されたが、フランク王国によって滅ぼされた。フランク王国分裂後のイタリアでは、諸侯や都市国家が分立することになった。

14世紀になると、イタリアではルネサンスと呼ばれる文化運動が展開され、新しい思想や芸術が生まれた。しかし、16世紀になるとイタリア戦争(3)による外国軍の侵攻などによってイタリアは荒廃し、ルネサンスの中心地はほかの西ヨーロッパ諸国に移った。

19世紀になると、イタリア統一を求める動きが進展した。ウィーン体制期には秘密結社の［　③　］が蜂起して政治的自由を要求したが、オーストリア軍によって弾圧された。二月革命の影響により1849年にはローマ共和国が作られたが、フランス軍に敗れて崩壊した。その後、サルデーニャ王国がイタリア統一の中心となり、首相［　④　］はイタリアの国際的地位の向上につとめた。1861年になるとイタリア王国が成立(4)したが、北部と南部の経済格差や「未回収のイタリア」などの課題が残された。帝国主義の時代になると、イタリアもアフリカ分割に加わり、1912年に［　⑤　］を獲得した。イタリアは三国同盟の一員に加わったが、第一次世界大戦に際しては「未回収のイタリア」獲得をめざして協商国（連合

国）側で参戦した。第一次世界大戦後、ファシスト党を率いるムッソリーニ(5)が政権を獲得し、1929年の［ ⑥ ］によってローマ教皇庁との関係を改善した。イタリアはドイツや日本と結んで第二次世界大戦に参戦したが、敗北を重ね、1943年には無条件降伏した。

設問１　文中の空欄［ ① ］～［ ⑥ ］にあてはまる語句を以下の語群から選びなさい。

〔語群〕

① ㋐ オドアケル　㋑ アッティラ王
㋒ クヌート（カヌート）　㋓ リューリク

② ㋐ 西ゴート　㋑ ブルグンド
㋒ ランゴバルド　㋓ ヴァンダル

③ ㋐ カルボナリ
㋑ 千人隊（赤シャツ隊）
㋒「青年イタリア」
㋓ ナロードニキ（人民主義者）

④ ㋐ ガリバルディ　㋑ コシュート
㋒ マッツィーニ　㋓ カヴール

⑤ ㋐ リビア　㋑ アンゴラ
㋒ モロッコ　㋓ カメルーン

⑥ ㋐ トルデシリャス条約
㋑ ラテラノ（ラテラン）条約
㋒ ヴォルムス協約
㋓ アミアンの和約

設問２　下線部(1)に関連して、次のＡ～Ｃの文の正誤の組み合わせとして、正しいものを以下の中から選びなさい。

Ａ　貴族側からの要求に従って慣習法が成文化され、十二表法が制定された。

Ｂ　リキニウス・セクスティウス法により公有地の占有が制限され、護民官の一人は平民から選出されるようになった。

Ｃ　ホルテンシウス法により、平民会での決議が元老院の承認を得ることなく国法として認められるようになった。

(ア)　Ａ ― 正　　Ｂ ― 正　　Ｃ ― 正

(イ)　Ａ ― 正　　Ｂ ― 正　　Ｃ ― 誤

(ウ)　Ａ ― 正　　Ｂ ― 誤　　Ｃ ― 正

(エ)　Ａ ― 誤　　Ｂ ― 正　　Ｃ ― 誤

(オ)　Ａ ― 誤　　Ｂ ― 誤　　Ｃ ― 正

(カ)　Ａ ― 誤　　Ｂ ― 誤　　Ｃ ― 誤

設問３　下線部(2)に関する記述として、正しいものを以下の中から選びなさい。

(ア)　五賢帝の一人マルクス＝アウレリウス＝アントニヌス帝は哲人皇帝とも呼ばれ、『国家論』を著した。

(イ)　ユリアヌス帝の時代には、はじめて帝国の全自由人に市民権が与えられた。

(ウ)　ネロ帝やディオクレティアヌス帝によってキリスト教徒が迫害された。

(エ)　コロナトゥスにかわってラティフンディア（ラティフンディウム）と呼ばれる大土地所有制が広がった。

設問４　下線部(3)に関する記述として、正しいものを以下の中から選びなさい。

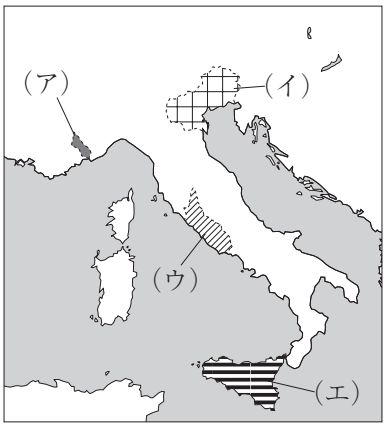
(ア)　ハプスブルク家とブルボン家との間でイタリアの覇権をめぐって展開された。

(イ)　プロテスタント貴族の反乱をきっかけとして始まった宗教戦争であったが、やがて覇権争いへと転化した。

(ウ)　講和条約として、カトー＝カンブレジ条約が結ばれた。

(エ)　戦争の結果、フランスがミラノ、ナポリ、シチリアを領有するようになった。

設問５　下線部(4)に関連して、1861年当時にイタリア王国領であった地域として、正しいものを以下の地図の中から選びなさい。



設問６　下線部(5)に関する記述として、誤っているものを以下の中から選びなさい。

(ア)　セルブ＝クロアート＝スロヴェーン王国（1929年にユーゴスラヴィアと改称）と国境紛争を起こした。

(イ)　日本、ドイツについで国際連盟から脱退した。

(ウ)　ドイツにおけるヒトラー運動を模倣してイタリアにおけるファシズム運動を作りあげた。

(エ)　第二次世界大戦中に連合国によってシチリア島が占領されると、ファシズム大評議会によって解任された。

4 次の文を読んで以下の設問に答えなさい。

ティグリス川・ユーフラテス川流域のメソポタミアでは、前2700年頃までに民族系統不明のシュメール人(1)によって都市国家が数多く形成された。前24世紀になると、シュメール人の都市国家はセム語系の［ Ⓐ ］人によって征服されたが、その後独立を回復した。前19世紀になると、セム語系のアムル人がバビロン第１王朝(2)を樹立し、バビロン第１王朝滅亡後のメソポタミアにはさまざまな勢力が侵入した。

エジプトでは、ナイル川の氾濫を利用した豊かな農業が営まれ、前3000年頃に統一国家が成立した。約30の王朝が交替し、このうち主要な時代は古王国・中王国・新王国(3)に区分される。

地中海東岸は、メソポタミアとエジプトを結ぶ交通路として古くから交通の要衝となった。前12世紀頃になると、アラム人やフェニキア人、ヘブライ人(4)などセム語系民族の活動が活発化した。アラム人は［ ① ］などを拠点として内陸の中継貿易によって栄えた。彼らが用いたアラム語は国際商業語となり、アラム文字はさまざまな文字の源流となった。フェニキア人は［ ② ］などの都市国家を拠点とし、地中海貿易で繁栄した。ヘブライ人は前1500年頃にパレスチナに定住し、苦難の歴史の中でユダヤ教(5)を成立させた。

北メソポタミアにおこったアッシリア王国は、前７世紀前半にメソポタミアやエジプトを征服して全オリエントを支配し、史上初の世界帝国となった。しかし、重税や住民の強制移住などの政策によって服属した諸民族の反発を招き、前612年にアッシリア王国は滅亡した。その後、オリエント世界には４王国が分立し、このうち、アナトリア（小アジア）におこった［ ③ ］では、世界最古の金属貨幣が用いられた。前６世紀半ばになると、［ ④ ］によってアケメネス（アカイメネス）朝が樹立され、オリエント世界(6)は再統一された。

設問１　文中の空欄［ Ⓐ ］にあてはまる語句をカタカナで書きなさい。

設問２　文中の空欄 ［　①　］ ～ ［　④　］ にあてはまる語句を以下の語群から選びなさい。

〔語群〕

①　(ア)　ダマスクス　　(イ)　クノッソス
　　(ウ)　クテシフォン　　(エ)　ニネヴェ

②　(ア)　シドン　　(イ)　ティリンス
　　(ウ)　ラガシュ　　(エ)　メンフィス

③　(ア)　パルティア　　(イ)　新バビロニア
　　(ウ)　リディア　　(エ)　メディア

④　(ア)　アルダシール１世　　(イ)　キュロス２世
　　(ウ)　アッシュルバニパル　　(エ)　サルゴン（１世）

設問３　下線部(1)に関する記述として、正しいものを以下の中から選びなさい。

(ア)　ハラッパーやモエ（ヘ）ンジョ＝ダーロなどの都市国家を形成した。

(イ)　キープ（結縄）によって数量などが記録された。

(ウ)　後にローマでユリウス暦として採用される太陽暦を用いた。

(エ)　ジッグラトと呼ばれる聖塔の上部の神殿に都市の神をまつった。

設問４　下線部(2)に関する記述として、正しいものを以下の中から選びなさい。

(ア)　はやくから鉄製の武器を使用し、シリアに進出してエジプトの新王国と戦った。

(イ)　（同害）復讐法の原則に立ち、過剰な復讐を禁ずる法典が発布された。

(ウ)　宗教家のマニが、ゾロアスター教・仏教・キリスト教を融合したマニ教を創始した。

(エ)　民族系統不明のカッシート人によって滅ぼされた。

設問５　下線部(3)に関する記述として、正しいものを以下の中から選びなさい。

(ア)　クフ王らが民衆を動員し、巨大なピラミッドやスフィンクスなどをつくらせた。

(イ)　メンフィスを中心地として中央集権化が図られた。

(ウ)　アメンヘテプ（アメンホテプ）４世の時代に太陽神アテン（アトン）を唯一神とする改革が行われ、写実的なアマルナ美術が栄えた。

(エ)　シリア方面から遊牧民ヒクソスが侵入し、国内は混乱した。

設問６　下線部(4)に関する出来事の順番として、正しいものを以下の中から選びなさい。

(ア)　ソロモン王の治世→ダヴィデ王の治世→イスラエル王国の滅亡→ユダ王国の滅亡

(イ)　ソロモン王の治世→ダヴィデ王の治世→ユダ王国の滅亡→イスラエル王国の滅亡

(ウ)　ダヴィデ王の治世→ソロモン王の治世→イスラエル王国の滅亡→ユダ王国の滅亡

(エ)　ダヴィデ王の治世→ソロモン王の治世→ユダ王国の滅亡→イスラエル王国の滅亡

設問７　下線部(5)に関連して、律法を厳格に遵守・実行するユダヤ教の一派で、イエスによってその形式主義が批判された人々の呼称として、正しいものを以下の中から選びなさい。

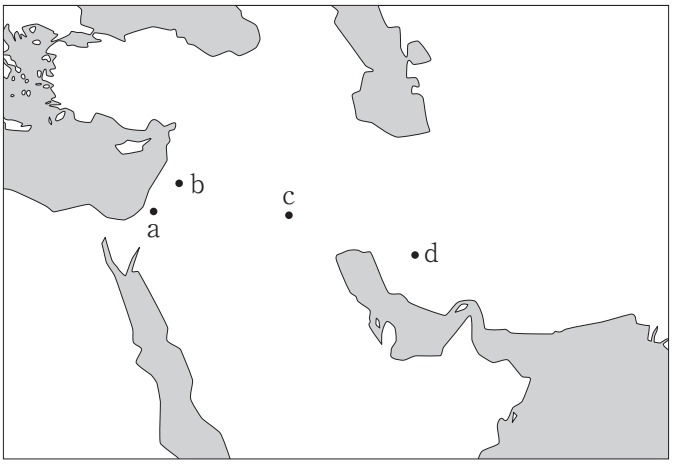
(ア)　カタリ派（アルビジョワ派）

(イ)　エピクロス派

(ウ)　黄帽派（ゲルク派）

(エ)　パリサイ派

設問８　下線部⑹に関連して、オリエント世界の都市の位置の組み合わせとして、正しいものを以下の中から選びなさい。



⑺　イェルサレム ― a　　ペルセポリス ― c

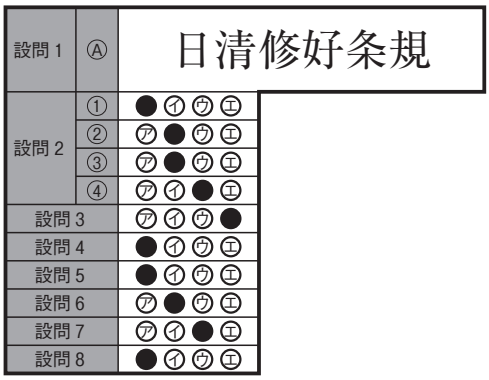
⑴　イェルサレム ― a　　ペルセポリス ― d

⑼　イェルサレム ― b　　ペルセポリス ― c

⑽　イェルサレム ― b　　ペルセポリス ― d

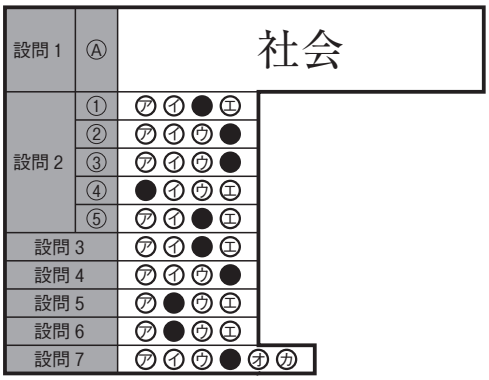
地理歴史（世界史）解答用紙　　２日［＊＊］

1



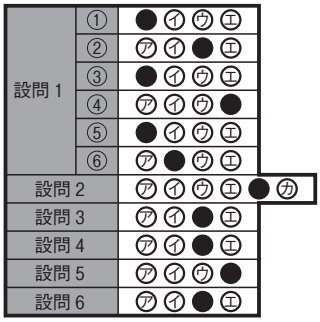
26点

2



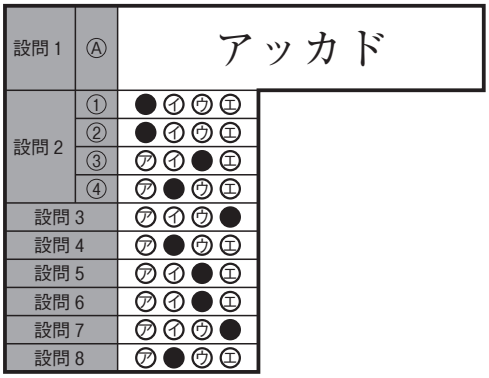
26点

3



24点

4



24点